

生分解性マルチの効果確認試験

JAえんゆう

岡村 貴幸



コーンマルチ (6.21)



コーンマルチ (9.20)



ナトゥーラ (6.21)



ナトゥーラ (9.20)

試験目的

生分解性マルチの効果確認試験

試験作物及び品種

南瓜

試験資材及び数量(規格)

コーンマルチⅡ(0.015mm×80cm×400m) 透明 無孔

慣行資材

ナトゥーラ(0.016mm×80cm×400m) 透明 無孔

栽培方法

定植日
6月13日

【栽植密度】
畝幅：400cm
株間：60cm

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

- ①展張に関しては、慣行品・試験品ともに問題なく行うことができた。薄いから破れやすいということではなかった。
- ②穴開け作業の際、試験品は伸びが強く、苗が潜ってしまうことがあった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

- ①生育状況は慣行品、試験品での差はなかった。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【問題点】：慣行品の方が水滴がマルチ内部に付着しているため、水分が抜けずらいのではないかと感じられた。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

- ①慣行品、試験品ともに展張は問題なく行うことができた。
- ②分解も慣行品が若干早い、どちらも鋤き込みに問題ない程度に分解している。

(5)雑草・病害虫の発生について

- ①雑草の発生具合は特に差はなかった。

モニター感想

慣行品、試験品とも展張は問題なく行うことができたが、試験品の方が伸びが強く穴開け作業では慣行品が優れていた。分解速度は慣行品の方が早い、鋤き込み作業はどちらも問題なく実施できていた。生育差は特に差がなかった。

JA担当者の感想(資材課 佐藤係長)

展張作業、生育状況には慣行品との差が見られなかったが、穴開け時の作業性が良くなかったので改善してほしい。生分解性マルチがさらに普及するよう低コスト化に向けた取り組みに期待している。

今後の使用について

改良して欲しい。
マルチの薄さは気にならなかったが、穴開け作業の伸びを改善してほしい。資材代が安くなる資材はより一層求められると思う。

将来希望する資材について

苗がカラスに抜かれることがある。カラス除けのデザインマルチなどがあると面白いかもしれない。

1 高温対策

2 害虫忌避効果

3 調光フィルム

4 シンデール広幅

5 クリネート

6 マルチ

7 不織布

8 育苗資材

9 酪農資材

10 その他